学校番号	T3003

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	年次	2
使用教科書	教育図書「ともに生きる明日をつくる」						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・生活の様々な現象や課題を身近な課題と考え、理解し深めた知識を身に付けましょう。

・友だちの考えを知り、様々な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

・授業中の取組む姿勢が重要です。活発に授業参加しましょう。

2　学習の到達目標

・「衣・食・住」に関する基礎的な知識と技術を修得し、生活の充実向上を図る力を育てる。

・自分の人生を通して、将来「親」や「高齢者」になる自分の役割について学ぶ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関心をもち、人の人生の向上を目指して主体的に取り組もうとしている。	家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関心をもち、人の人生の向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、工夫し創造しようとしている。	家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関心をもち、人の人生の向上を図るための基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関心をもち、人の人生の向上を図るための基礎的・基本的な知識を理解し身につている。
評価方法	学習状況の観察 ノート ワークシート レポート提出 自己評価 定期考査　　等	学習状況の観察 ノート ワークシート レポート提出 自己評価 定期考査　　等	学習状況の観察 ノート ワークシート レポート提出 自己評価 定期考査　　等	学習状況の観察 ノート ワークシート レポート提出 実習 自己評価 定期考査　　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	様々な人生をみつめる	○家庭科の学び方 ・さまざまな家族 ・家族に関する法律 ○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ○目標をもって生きる ・男女共同参画社会 ・ともに支えあう社会	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 家族を意識的に捉えるとともに、様々な家族構成・家族形態について知る。 b: 家族に関する法律・扶養、相続に関する法律を知り，家族社会の果たす役割が重要であることを認識する。 c: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 d:青年期にある自分を見つめ、課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。	授業観察 ノート ワークシート レポート 自己評価 定期考査 等
	支えあって生きる	○これからの家庭生活と社会 ・高齢期の生活と課題 ・人口の高齢化と高齢者福祉 ○高齢者と生きる ・高齢者の心身の特徴 ・高齢社会の現状と課題 ・充実した高齢期を送る	○ ○	○ ○	 ○	○	a:家庭生活と社会福祉の関連について理解する。 b: 高齢者の心身の特徴と生活及び福祉について理解し、高齢者の自立生活を支えるために家庭や地域社会の果たす役割が重要であることを理解できたか。 c: 家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 d: 高齢期を迎えるにあたり、自分が今できることは何かを考える。	授業観察 ノート ワークシート レポート 自己評価 定期考査 等
	資源とともに生きる	○よりよく生きるために ・私たちの生活と資源 ・環境や生物に対する ○現代日本の抱える問題を生活者の視点（防災・減災、社会保障　等）で捉える	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a: 環境問題と地球に優しい生活について理解し、社会の一員として関心を持っている。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし意欲的に学習に取り組もうとしている。 c:コミュニティ活動やNPO活動などについて、関心を持ち表現しようとしている。 d:家族・家庭の生活を支える資源や自分自身の社会的な役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査

後期	衣生活をつくる	○衣生活をみつめる ・被服材料の種類と性能 ・衣生活の計画 ・多様化する衣生活 ○衣生活を快適に営むこと ・消費行動のありかた ・生活に必要なお金の内容を知り、経済の動きの中での家計の経営を考える	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識を習得する。 b: 衣生活に関しての基礎的な知識を技術が習得できたか。 c: 自分や家族の衣生活について課題を見付け解決をめざして思考を深めているか。 d: 消費者の社会的影響力について理解しているか。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査
	食生活をつくる	○食生活の成り立ち ○食事と栄養・食品 ・問題点の把握 ・栄養素の種類 ○食生活の安全と衛生 ・食中毒や食品添加物 ○現代の食生活 ・ ○食事をつくる ・献立を作成する ・調理する	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に関心をもち、食生活に対して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、環境などについて実習を通して、食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 実習 自己評価 相互評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。